

神奈川県立金井高等学校同窓会
定 期 総 会 次 第

日 時： 令和 7 年 9 月 15 日（月）午前 11 時～

場 所： 金井高等学校 2 階会議室

議 事： 議長選任

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告

第 2 号議案 令和 6 年度会計報告

第 3 号議案 令和 7 年度事業計画

第 4 号議案 50 周年記念事業計画

第 5 号議案 令和 7 年度予算案

議長解任

※現在の役員は 2 年間の任期途中であることから、今年度は役員改選を行ないません。ただし、会計・庶務及び会計監査に各 1 名の欠員があるため、総会まで、または総会当日の立候補があれば、臨時に委嘱や信任決議を行います。

※同窓会の事業年度は 8 月 1 日から翌年 7 月 31 日までです。

第1号議案・令和6年度事業報告

令和6年度の同窓会事業については次の通り。

1. 活動記録

※前回定期総会以降のもの。役員打合せについては、同報メールにより随時実施。

- 9月 29日(日) 定期総会
- 10月 23日(水) 会報WE B版第3号発行
- 11月 27日(水) 創立50周年実行委員会(以下、実行委)・総会出席
- 12月 3日(火) 金井高校3年生に同窓会入会について説明(森)
- 12月 7日(土) 会報WE B版第4号発行
- 1月 13日(月) 会報WE B版第5号発行
- 1月 21日(火) P T A会長と打合せ(森)
- 1月 22日(水) 実行委・総会出席
- 1月 27日(月) 実行委・事業部会打合せ(森、小島)
- 2月 5日(水) 実行委・記念誌部会打合せ(森、白井)
- 2月 19日(水) クラウドファンディング業者(Yellz)と打合せ(森、白井、神保)
(株)同窓会事務局と打合せ(〃〃)
- 2月 26日(水) Yellz オンライン打合せ(森)
- 3月 3日(月) 金井高校卒業式出席・祝辞(森)
- 3月 18日(火) Yellz オンライン打合せ(森)
実行委口座開設(委員長である会長名義)
- 4月 2日(水) 金井高校を訪問、笠原新校長先生に挨拶、取材(森)
- 4月 8日(火) 金井高校入学式出席・祝辞(森)
- 4月 17日(木) 会報WE B版第6号発行
- 4月 21日(月) 記念事業費の立替分250万円を金井高校50周年実行委員会口座に入金
- 5月 12日(月) 「わたしの店・会社」第1弾をホームページに掲載
- 5月 29日(木) Yellz 打合せ(森、白井、小島)
実行委・総会出席(〃〃)
- 5月 30日(金) 金井高校学校運営協議会出席(森)
- 6月 29日(日) 会報WE B版第7号発行
- 7月 7日(月) 金井高校生徒会執行部と打合せ(森)
- 7月 24日(木) タウンニュース取材(森)
- 7月 29日(火) 実行委・祝賀会部会打合せ(森、神保)
- 7月 30日(水) クラウドファンディングサイト公開
- 7月 31日(木) 同窓会報第15号発送完了
タウンニュース栄区・港南区版、戸塚区・泉区版に記事掲載
住友電気工業(株)、鎌倉女子大学訪問(森)

《以下、次年度のため参考》

- 8月 1日(金) 横浜リハビリテーション専門学校訪問(森)

- 8月 9日(土) 会報WE B版第8号発行
- 8月 15日(金) 会報WE B版第9号発行
- 8月 19日(火) 金井高校写真部とコラボ企画の作業(森)
記念事業費立替分250万円について県・まなびや基金への振込を確認
- 8月 21日(木) タウンニュース社打合せ(森)
- 8月 29日(金) サッカー遠藤航選手エージェントと打合せ(森、金井高校教諭同行)
- 9月 1日(月) エフエム戸塚「おはよう! 咲くらじお」に出演、クラウドファンディング
及び週末の金井祭について告知(森)
- 9月 4日(木) 吹奏楽部東関東大会出場壮行会に出席、部活動支援金を支給(森)
地域タウン誌「はまかぜ」取材対応(森)
実行委・総会出席(森、白井、神保)
- 9月 5日(金) 金井祭準備(森、白井)
- 9月 6日(土) 金井祭参加。PTA本部と連携して、「金井祭歴代ポスター展」及び、
クラウドファンディング寄付者向け「校歌CDプレゼント」を実施
(森、長谷部、小島)
- 金井高校学校運営協議会出席(森)
- 9月 15日(月) **定期総会【本日】**

2. 事業内容

(ア) 同窓会報第15号発行

母校創立50周年に伴うクラウドファンディングの開始に合わせて、臨時号として同窓会報第15号を発行、クラウドファンディングについての紹介と共に、同窓会活動、特にホームページや各種公式SNSについての周知を行った。

(イ) 同窓会報WE B版第3号～第7号発行

同窓会活動の活性化に向けた、同窓会ホームページのコンテンツ充実の一環として、前年度試行的に開始した同窓会報WE B版の発行を引き続き行った。この中で、成人の日に合わせた特別号として、20歳、30歳、…、還暦まで節目の歳を迎えた同窓生に当時の担任の先生からのメッセージを伝える企画を開始し、好評を得た。

(ウ) 「わたしの店・会社」企画を開始

同様に、「会員相互の和を図る」目的に沿って、金井高校卒業生のやっているお店・会社を紹介する「わたしの店・会社」企画を開始し、第1弾を掲載した。

(エ) 同窓会公式SNSの運用

公式Facebook、公式Instagram、公式X(旧Twitter)、公式LINEについて、それぞれの特性に応じた運用を行い、同窓会活動、母校行事、母校生徒の活躍などの告知、報告などを行った。いずれもフォロワー数などが徐々に伸びてきた。ただし、公式LINEについては友だち登録が170名を超え、通知が月当たり200通の制限があるため、随時の通知に支障をきたしている。

(オ) 48 期卒業生の入会

令和 7 年 3 月の母校 48 期生の卒業に伴い、会長が卒業式で祝辞を述べるとともに、入会手続き及びそのデータ処理を行った(300 名入会)

(カ) 部活動支援金の支給

吹奏楽部が東関東吹奏楽コンクール出場及び全国高等学校吹奏楽大会 in 横浜への出場を決め、また、陸上競技部の 2 年生 1 名が、七種競技で 7 月の関東高等学校陸上競技大会、8 月の関東陸上競技選手権大会への出場を連続して決めたことから、それぞれについて部活動支援金（順に 50,000 円、100,000 円、5,000 円、5,000 円）を支給した。

(キ) 会費及び会報・母校支援金（以下、「会費等」と表記）の徴収方法試行

会費等の徴収に関して、アプリ決済として Rakuten 銀行、PayB、ゆうちょ Pay、Jcoin を試験的に導入したが、比較的利用人口の少ないものであり、大きな成果にはつながらなかった。

(ク) 母校創立 50 周年への協力

前年度に引き続き、会長が実行委員長を務めるとともに、記念事業・記念誌・祝賀会の各部会に同窓会役員が所属し、50 周年に関わる活動を行った。

(ケ) “中庭再生”クラウドファンディング（以下 C F）を開始

50 周年事業として決定された「グラウンド夜間照明設置と中庭再整備事業」のうち、準備資金の額により内容が左右される「中庭整備事業」について、C F による資金調達が適当との判断から、この C F について、同窓会が主体で行うこととなった。また、この中庭整備事業について、令和 7 年度中の工事に入るため、CF 資金の一部、250 万円を当面、同窓会で立て替えることとした。

(コ) 「個人情報取扱いについて」を改訂

ホームページ上の入力フォームの利用など、情報収集や情報管理の体制を反映する必要から、表現の分かりづらかった部分の修正も含めて改訂を行った。

(サ) 公式ホームページ上にお問い合わせフォームを設置

公式ホームページの「お問い合わせ」タブに「お問い合わせ・住所変更等入力フォーム」を(株)ベシックが提供する formrun の無料プランを利用して設置、住所変更届をはじめ、日常の問い合わせなど、会員からのニーズに合わせた対応を可能とした。

(シ) 金井祭への参加

P T A と連携して、各期の卒業記念品を校内から見つける企画を実施。あらたに不明だった記念品が判明するなどの思わぬ効果もあった。

(ス) 母校との連携

森会長が、昨年度に引き続き、金井高校・学校運営協議会の委員を委嘱され、地域内の大学・専門学校、小学校、町内会長や、P T A 会長の皆さんと共に、金井高校の学校運営に参画し、学校目標の設定や学校評価などの活動を行うことになった。

第2号議案・令和6年度会計報告

第2号議案・令和6年度会計報告

神奈川県立金井高等学校同窓会
2024(R6)年度 会計報告

2024年(R6)8月1日～2025年(R7)7月31日
通帳執行は8月4日まで

科 目	予算(円)	決算(円)	増減(円)	科 目	予算(円)	決算(円)	増減(円)
I 収入の部				II 支出の部			
1 繰越金	12,053,853	12,053,853		1 事務連絡費	5,000	330	4,670
2 入会金	600,000	600,000	0	2 会員情報連絡費	5,200,000	5,266,986	-66,986
4 協力金	0	0	0	4 交通費	10,000	0	10,000
5 50周年事業寄付金	3,000,000	0	-3,000,000	5 消耗品	10,000	4,112	5,888
3 会費	300,000	665,042	365,042	3 雑給	2,000	0	2,000
6 利息	100	12,175	12,075	6 会議費	2,000	0	2,000
7 雑収入	0	0	0	7 慶弔費	5,000	0	5,000
				8 部活動支援費	200,000	160,000	40,000
				9 50周年記念事業費	3,000,000	2,524,750	475,250
				10 雑費	11,000	9,030	1,970
				11 予備費	100,000	0	100,000
収入合計A	15,953,953	13,331,070	-2,622,883	支出合計B	8,545,000	7,965,208	579,792
				次期繰り越しA-B		5,365,862	

今年度入会卒業48期生 300名

会員情報連絡費 支出内訳

情報管理関係	365,041
HP・SNS管理関係	248,050
会報発行関係	4,653,895
	5,266,986

繰越金現在高明細

区 分	金 額(円)	適 用
現金	0	手元有高
普通預金	771,426	三井住友銀行 藤沢支店
定期預金	4,594,436	三井住友銀行 藤沢支店
合計	5,365,862	

以上の通り報告いたします。

2025年8月4日

会計

白

上記の収支計算書は、適正に表示しているものと認める。

会計監査

和 穂 真 美
和 穂 真 美

※人名及び印影については、ぼかしを入れてあります

第3号議案・令和7年度事業計画

※50周年記念事業関連については第4号議案

【基本方針】年会費・賛助金収入の増加を図るとともに年間支出について大きく見直しを行い、50周年関連事業終了後、年間の収支が良好なバランスになることを目指す。

1. 以前から業務委託している(株)同窓会事務局との契約形態を見直し、年間定額契約とする
(ア) 従前、個別発注だった情報入力などをまとめて、年間定額の包括契約とする
(イ) 新たにメールアドレス管理を追加する。
(ウ) 今年度に限り、8月1日に遡って3月末日までの月割り契約と4月1日からの年間契約とする。次年度以降は、翌年4月からの年間契約を予算案に盛り込む。
2. ホームページにおける情報発信と収集
(ア) 同窓会報WEB版の発行により、同窓生・旧職員のインタビューや、同期会・クラス会やOB・OG会などの記事、職員の情報など、広く会員の関心の高いコンテンツを展開することにより、一般会員の同窓会活動への関心を高める。
(イ) 「わたしの店・会社」企画への掲載店等の拡大を目指す。
(ウ) 「お問い合わせフォーム」を活用し、様々な用途での利用拡大を図るとともに、メールアドレスの登録を推奨、推進する。
(エ) ホームページ及び各SNSによる情報提供を、それぞれの特性を生かした形で引き続き行う。特にLINEの公式アカウントについては、若年層の利用が多く、また、簡便で個人情報の登録を伴わないことから有効性が高い。メニューから上記の各SNSへのリンクを張ることで、他のコンテンツへの波及効果も期待できることから、有料版に転換する。
3. 同窓会報
(ア) 50周年の報告として、地元タウン誌のタウンニュース社と連携して作成する「タウンニュース金井高校50周年特別号」を、生徒・職員に配付、横浜市栄区・戸塚区全域に新聞折込で配付するとともに、通常同窓会報に代えて全会員に送付する。
(イ) 紙版の会報発行については、1回の発行につき約250万円を要することから継続が困難である。このため、次回(8月発行)の第16号をもって全会員への発送を打ち切りとし、WEB版への移行を基本とする。ただし、会員のメールアドレス登録の促進によるメールマガジン方式や、年会費及び賛助金納入会員向けの発行などについても検討し、第16号での告知を行う。
4. 金井祭への参加
(ア) PTA本部企画との共催の形で、金井祭の歴代ポスター展を実施、また、クラウドファンディング連携企画として、校歌CDプレゼントを実施する。
5. 入会事務・会員情報管理
(ア) 引き続き例年同様の方法で行う。入会書類に同窓会ホームページ、各SNSの紹介を新たに掲載し、入会時の登録増加を図る。また、入会手続きのオンライン化を検討する。
(イ) 前年度設置のホームページ上の住所等変更連絡フォームは有効に機能しているため、引き続き活用する。

6. 部活動支援金

(ア) 引き続き例年同様の方法で行う。

(イ) ただし、将来的には年間収入とのバランスから、廃止、または、都度の呼びかけによる賛助金方式への移行を検討する。

7. 会費・賛助金について

(ア) 年会費・賛助金徴収について、紙版会報郵送の廃止に伴い、会報第 16 号同封の郵便振替用紙をもって、郵便振替方式を廃止する。

(イ) これにともない、今年度より、同窓会HP及びSNSによる納入案内を拡大するとともに、メールアドレス登録による個別案内の導入などを検討する。

第4号議案・50周年記念事業基本計画

1. 母校との連携

(ア) 会長・森が金井高校の50周年記念実行委員会の委員長を引き続き務め、実行委員会運営に同窓会として積極的にかかわっていく。

(イ) 実務作業は、母校内の運営組織である常任委員会と各作業部会が行うため、同窓会から記念事業部会、記念誌部会、祝賀会部会に派遣された役員が引き続き実務に関わっていく。

2. 記念事業と寄付金について

(ア) 学校と協議の上、「グラウンド夜間照明設置」及び「中庭再整備」に決定した記念事業のうち、「中庭再整備」について11月末までを予定して行っているクラウドファンディングについて、まずは同窓会立替分の250万円の回収を目指すとともに、それ以上の額となるよう、引き続き各種告知・勧誘を行っていく。

(イ) 寄付金の額は1口1,000円で2口以上(上限なし)とする。

3. 記念誌について

(ア) これまでの周年記念誌とは異なり、過去十年間だけに焦点を当てるのではなく、改めて50年間の軌跡を再確認できるようにする方針で編集中。

(イ) 過去の情報・エピソードなどについて、極力詳細な情報を集めて盛り込むことを目指している。その過程で、同窓生にも情報提供を随時求めていく。

(ウ) 記念誌は、全校生徒、現職員、式典・祝賀会出席者、及び全県立学校及び関係機関に配付予定。会員については、クラウドファンディングにおける15,000円以上寄付者を対象とした事前予約制としたが、該当者少数のため、引き続き広報活動を行う。

4. 記念式典・祝賀会について

(ア) 以下の日程で実施する。

式典 令和7年10月30日(木) 13:00～ 於・鎌倉芸術館(大船)

祝賀会 〃 18:00～ 於・鶴ヶ岡会館(鎌倉)

(イ) 過去の周年事業とは異なる、50周年という大きな節目であるため、同窓会として歴代校長や創立期の教職員、金井高校に在職経験のある卒業生などについて、ご案内を学校に要請する。

(ウ) クラウドファンディング高額(10万円以上)寄付者(関係者に限る)を招待する。

神奈川県立金井高等学校同窓会
2025年度 収支予算書

2025年(R7)8月1日から2026年(R8)7月31日

科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
I 収入の部		II 支出の部	
1 前年度繰越金	5,365,862	1 事務連絡費	5,000
2 入会金	600,000	2 情報管理費	350,000
3 会費	600,000	3 HP・SNS管理費	310,000
4 協力金	10,000	4 会報発行費	4,500,000
5 50周年事業寄付金	2,500,000	5 消耗品費	10,000
6 利息	5,000	6 会議費	2,000
7 雑収入	0	7 慶弔費	5,000
		8 部活動支援費	200,000
		9 50周年記念事業費	500,000
		10 雑費	11,000
		11 予備費	120,000
収入合計 A	9,080,862	支出合計 B	6,013,000
		次期繰り越し予定額 A-B	3,067,862

収入5 クラウドファンディングで必要経費として戻入される最大予定金額

支出2、3、4 従来の「会員情報連絡費」を業務内容ごとに以下の通り分類

支出2 新卒入力、修正入力、データ整備入金管理、入金者リスト

支出3 HP、SNS管理

支出4 同窓会報発行、発送

支出9 ポスター、チラシ等の製作費、記念誌製作・郵送費、その他予備

支出10 同窓会保管用卒業アルバム代含む

支出11 従来の雑給、交通費に該当する費用が発生した際は予備費で対応

50周年記念事業が予定されているため、その内容により変更する場合あり。